



学校教育目標

さいたま市立大宮南中学校 わかとり

輝く個性 夢きらり

学校だより 1月号

令和6年1月9日(火)発行

〒330-0834

さいたま市大宮区天沼町2-362

TEL 641-1142 FAX 641-5356

新年を迎えて

校長 田村浩司

保護者ならびに地域の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

初めに、1月1日に発生した石川県能登半島地震により、犠牲となられました方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された全ての方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地域の皆様の安全と一日も早い復旧を心よりお祈りいたします。

さて、皆さんは「心想事成(しんそうじせい)」という言葉を知っていますか。この言葉は、春節(中国や中華圏における旧正月)でよく使われる挨拶の一つです。最近では「心想事成」がタイトルになったドラマが海外で流行したということも聞いています。

日本将棋連盟棋士である谷川浩司十七世名人は、色紙や扇子に「心想事成」という言葉をよく書いて贈っていたそうです。「心に想うことは成就する。願い事が叶う。」という意味ですが、谷川氏は「そのためには、平素からどれだけ本気で勝負に打ち込んできたかということが大切だと思います。真剣に、本気で打ち込んできた時間が長く、思いが強い人ほどよい結果を得ることができるし、そのための運も呼び寄せられるのではないのでしょうか。」と話しています。また、「勝負の神様はそういうところをきちんと見ておられるし、それはその対局の時だけでなく、普段の生活すべてを見ておられると思うんです。もちろん人間ですから一日中将棋のことを考えているわけにはいきませんが、体の中心に将棋というものが軸としてあるか、そこが問われると思います。」とも話しています。

本校の学校教育目標は「輝く個性 夢きらり」です。南中生の皆さんが、まず、心の底から本気で打ち込める夢や目標をもつことが必要です。夢や目標がもてた人、すでにもっている人は、今日から実現に向けての第一歩を踏み出してほしいのです。そして、その夢や目標を将来への希望の光として心にもち続け、粘り強く努力を続けてください。粘り強さは誰でも本気で取り組みれば、自分のものとして習得できるものです。新しい一年が始まる今だからこそ、気持ちも新たに、小さなことからでもよいので始めましょう。

3学期は、次の学年に進級、進学するための「準備」の学期であるとよく言われます。

3年生の皆さんは、1月22日から私立高校入試が始まります。2月21日の県公立入試まで試験が続きますが、希望する進路の実現に向けて最善を尽くし、これまでの「準備」が結果として実を結ぶよう、私は心から願っています。南中の皆さんは日頃からしっかりと生活していますので、最後は強運も味方についてくれると信じています。

1・2年生については、

1年生・・・5月実施予定の「未来くるワーク(職場体験)」に向けての「準備」

2年生・・・「自然の教室」成功に向けての「準備」

他にも、卒業式で3年生を温かく送り出す「準備」、1年生は新入生の先輩として、2年生は最高学年として学校を担う「準備」などもあります。これらの取組を通して、一人ひとりが考え、「準備」し、各々の役割を主体的に果たし、この3学期によい経験を積み重ねられるよう期待しています。

教職員一同、南中生の夢や目標の実現に向けて、これからも支援してまいります。引き続き、本校の教育活動への御理解、御協力をお願いいたします。